

庁舎整備基本設計 庁舎整備検討市民委員会 ニュース

No. 1

2016.6.10

袖ケ浦市総務部 管財契約課（管財班）TEL 0438-62-2226

庁舎整備検討市民委員会

が始まりました！

◎庁舎整備の経緯

袖ケ浦市の庁舎は、昭和45年に3階建庁舎（旧庁舎）と議場を、昭和55年に7階建庁舎（既存新庁舎）を建設しました。これらは昭和56年の建築基準法改正以前に建設されたものであるため、現行の耐震基準を満たしていません。

また、旧庁舎は築45年、既存新庁舎は築35年以上が経過しており、設備等の老化も進んでいます。

このことから、災害対策拠点としての機能も有する庁舎の機能充実を図り、市民の安全・安心を確保するため、平成24年度に「袖ケ浦市庁舎整備基本計画」を策定し、庁舎の再整備を計画的に進めることとしました。

◎基本計画の概要

・新庁舎は、耐震補強と大規模改修工事により長寿命化を図ります。

・旧庁舎は老朽化が進み、改修工事では庁舎の問題点を根本的に解決する事が困難なため建替えます。

◎計画の具体化

基本計画に従い、経済的また効率的に庁舎整備を進めるため、平成28・29年度で計画を具体化（基本設計）し、今後の整備スケジュールを検討します。

また、庁舎の整備工事が完了するまでの財源負担を平準化するため、基金の積み立てを行います。

庁舎整備検討市民委員会の流れ

第1回検討市民委員会 H28. 5. 17

- ・ 庁舎整備基本計画について
- ・ 最近の市庁舎整備の事例



第2回検討市民委員会 H28. 8. 9

- ・ 市民交流スペースの
活用方法について



先進地視察

- ・ 場所：未定



第3回検討市民委員会

- ・ 利用しやすい窓口や
待合スペースについて



第4回検討市民委員会

- ・ 開かれた庁舎、議会について



第5回検討市民委員会

- ・ 庁舎平面プラン（案）
に対する意見、要望



第6回検討市民委員会

- ・ 提案書の提出



第7回検討市民委員会

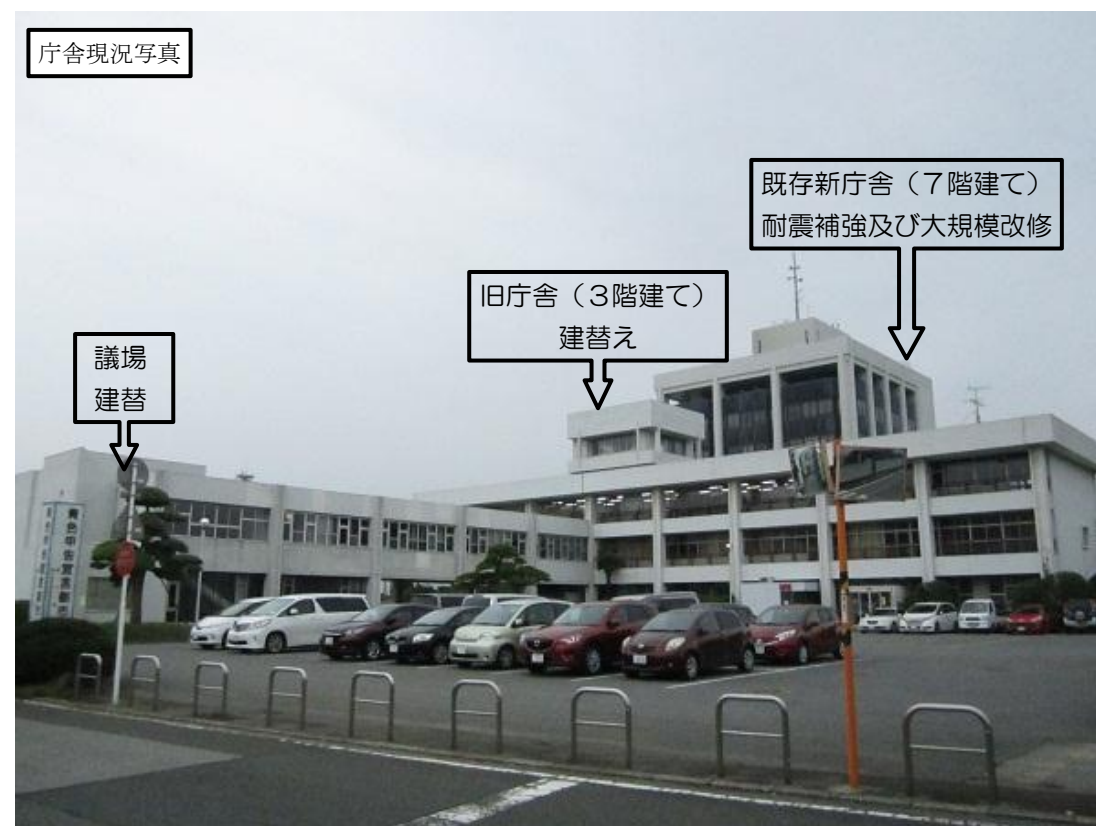
- ・ 基本設計プラン説明

袖ヶ浦市庁舎整備基本計画の配置案

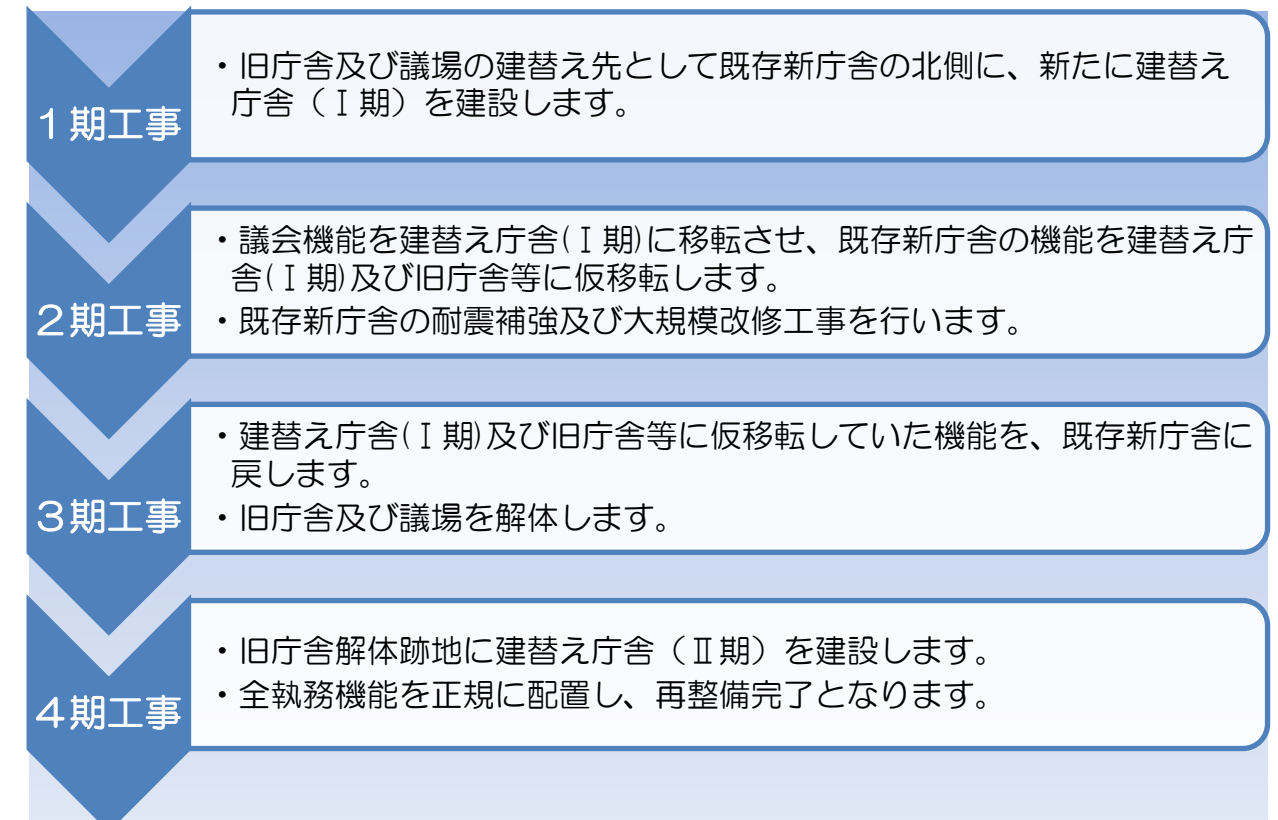
現在の庁舎配置



再整備後の庁舎配置案



庁舎の再整備手順



◎庁舎整備検討市民委員会

庁舎整備の基本設計において「庁舎に求める機能」や「情報の受発信、交流の場として市民に開放できるスペース」などの計画検討を、市民の皆様との協働で取り組んでいくため、「袖ヶ浦市庁舎整備検討市民委員会」を設置し、平成28年5月17日に「第1回庁舎整備検討市民委員会」を開催しました。

○委員構成（19名）

- | | | | |
|---------------|----|------------|----|
| ・学識経験者 | 2名 | ・市内関係団体等推薦 | 9名 |
| ・自治連絡協議会各地区推薦 | 5名 | ・公募市民 | 3名 |

◎庁舎整備に係る5つの基本方針

1. 防災拠点としての庁舎

- ・災害時において、防災拠点の中心となるよう庁舎建物の安全性と防災機能の充実、災害時にも機能できる環境の整った庁舎を目指します。

2. 市民サービスとユニバーサルデザインに配慮した庁舎

- ・高齢や障がい者など、すべての来庁者にとって利便性の高い窓口空間の実現を目指します。

3. 市民活動の場として開かれた庁舎

- ・市や各種団体の情報発信、情報交流の場として整備を行い、市民協働の施設となる庁舎を目指します。

4. 経済的で環境に配慮した庁舎

- ・快適で安全な室内環境と省エネルギー化を目指し、自然エネルギーをかつようした環境にやさしい庁舎を目指します。

5. 将来変化に対応できる庁舎

- ・高度情報化への対応やセキュリティ機能の向上などのほか、職員にとって快適で働きやすい執務環境の実現を目指します。

※市民委員会検討事項

◎第1回庁舎整備検討市民委員会

○議題

①庁舎整備基本計画についての説明

②最近の庁舎整備の事例についての説明

庁舎整備基本計画についての概要を説明する中で、委員の皆さまから様々な質問が出されました。その一部をご紹介します。

質問①

東日本大震災も熊本地震も、想定外の規模の災害が起きている。コストを抑えることは大事だが、この地区の想定される範囲の規模に耐えられるだけで本当に良いのか不安である。

回答①

耐震性能とコストのバランスは難しいところですが、建替え及び改修庁舎のいずれも震度6強から7の地震でも、構造体の補修をすることなく使用できるようにします。

質問②

県が公表した袖ヶ浦市の最大津波高は2.4mだが、南海トラフ地震では高い津波が想定されていたと思う。庁舎は海拔2.7mとのことだが、庁舎の浸水対策はどうするのか。

回答②

南海トラフ地震では震度5強、最大津波高2mが想定されていますので、地震時に大きな浸水被害は無いと考えますが、浸水により機能しなくなるものについては上層階に移動して対応します。

質問③

一般住宅の耐震性のは耐震指標1以上が良いと言われているが、庁舎の耐震基準と同じ基準なのか。

回答③

基本計画に記載している耐震性を表すIs値は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造の建物に用いられるもので、木造住宅とは異なる基準となっています。

質問④

旧庁舎はIs値は0.46で既存新庁舎のIs値は0.48、差は0.02しかない。旧庁舎は建替えが必要としているのに、既存新庁舎は耐震改修で耐震適合基準値であるIs値0.75まで上げられるのですか。

回答④

耐震診断の結果、旧庁舎は補強が必要な箇所が多くありますが、既存新庁舎は旧庁舎の半分程度であり、新庁舎は改修により比較的容易にIs値を0.75まで上げることが出来ます。

質問⑤

Is 値で示されてもよく理解できない。マグニチュード8なのか7なのか、震度いくつとか、それで判断します。熊本地震でも初めの震度7では大丈夫であった建物が、次の震度7で倒壊してしまいました。我々素人ですのでIs 値では良く解りません。

回答⑤

具体的な表現があればよいのですが、旧耐震基準で建設された非木造建築物の耐震性能はIs 値での表現となります。

鎌田委員長から一言

大切なことはこの委員会の皆さんが、基本計画を見て、何が良く解らないのか意見を言っていただくことが重要です。今後のQ&Aも含めて何かの機会に、この市民委員会の記録を市民が見て、庁舎整備について広く理解して頂けるようにしていただきたいと思います。

事務局からの提案

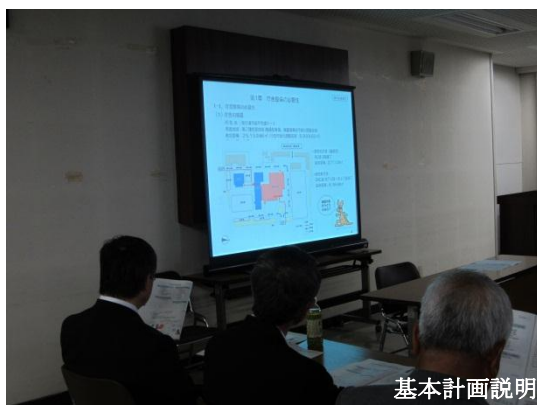
質疑応答については、委員会の限られた時間の中で行う事は効率的ではないと思われますので、今後は質問カードにより提出していただいて、次の委員会までに文書で回答することを考えています。それを会議録と一緒に公開したいと思います。



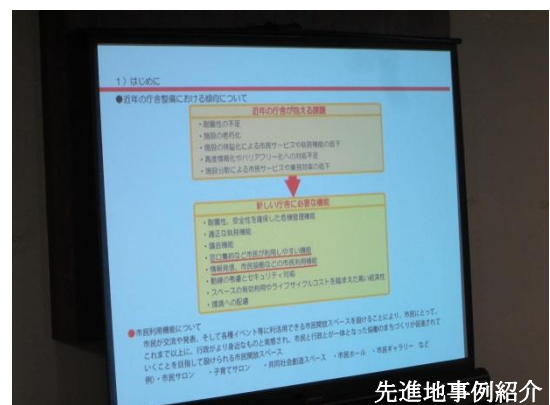
委嘱状交付式



会議の様子



基本計画説明



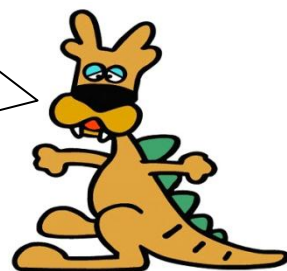
先進地事例紹介

第2回検討市民委員会

H28. 8. 9

- ・市民交流スペースの
活用方法について

市民委員の皆さん
と共に 検討を進
めています！



袖ヶ浦市マスコットキャラクター「ガウラ」

次回、庁舎整備検討市民委員会は、8月9日を予定しています。

市や各種団体の情報発信、交流を図るイベント広場として市民に開放できるスペースの活用方法について、委員の皆さまにご意見を伺います。

会議の方法は、各班6人、3班に分かれてワークショップ形式で自由にご意見を出し合っていたいただきたいと思います。

庁舎を訪れる全ての方々が利用しやすく、市民に親しまれる庁舎を目指して、庁舎整備検討市民委員会の皆様とともに基本計画を検証しながら、市や各種団体の情報発信の場となる市民の交流スペース等の計画を検討してまいります。

袖ヶ浦市総務部

管財契約課